



## 6/24(金)は創る科参観日です！！

6/24(金)の参観日は、全学級で「創る科」の授業を公開します。先日の学校説明会において、本校研究部長が「創る科」について説明いたしましたが、来週の参観日に向けて、学校だよりで改めて「創る科」について説明したいと思います。

「創る科」の概要は下の表及び図のとおりです。「創る科」をイメージしていただきやすいように、表には国語科や算数科と並べてお示ししています。

教科名	国語科	算数科	創る科
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。	どの教科の学習においても価値を使いこなし、日常生活に活かしていく力を育成する。
週当たり時間数(1年生)	8時間	4時間	1時間
学習内容	「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」	「単位・基準」「集合」「表現」「関数の考え」の見方	「比較する力」「関連付ける力」「批判的思考力」などの価値
教材	日常生活における言語に関する場面、説明文、物語文など	A 数と計算、B 図形、C 測定(下学年)変化と関係(上学年) D データの活用の4領域を基にした教材	日常的な事柄や身近な問題など

「創る科」で扱う価値は次の8つです。

「具体化・抽象化する力」	「比較する力」	「批判的思考力」	「問題を見出す力」
「情報を収集・処理する力」	「関連付ける力」	「他者に伝える力」	「先を見通す力」

これらの価値は、どの教科の学習を進めるにも必要な力です。また、子供の現在の日常生活、ひいては子供が将来、社会人になったときにも現在以上に求められるといわれている力です。例えば、「問題を見出す力」は、算数科で計算の仕方考える場面で必要とされます。新しい計算に出合った時にどのように計算するとよいか困ることがあります。このとき「問題を見出す力」を発揮すると、「できない」とあきらめるのではなく、どこが難しいのか問題を見出し、これまで学習した方法を使って解決していくことができます。

さらにこの力は、AIの普及による急激な社会の変化が予想される将来には、「まだ誰も気付いていない問題を見出し、それを社会に向けて提起する力」として重視されています。保護者の皆様も、お仕事等、日々の生活の中で、これらの力の必要性を感じられることがあるのではないかと思います。

以上のように「創る科」では、価値についてしっかり考え、どの教科の学習においても使いこなし、さらには、日常生活に活かしていく資質・能力を育てています。この資質・能力を「汎用的スキル」と呼んでいます。このことが、子供の豊かな学びにつながっていくと考えています。

6/24(金)の参観日には、ぜひご来校、ご参観いただけたらと思います。後日、学校アンケートにおいてご意見、ご感想をいただきたいと考えています。多くの保護者の皆様のご来校をお待ちしております。

